科目ナンバリング							
授業科目名 <英訳>	イタリア語Ｉ （文法） I101 Italian I (Grammar)			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 河合　成雄 非常勤講師 片山　浩史		
群	外国語科目群	分野(分類)		使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	8単位	週コマ数	2コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・通年	曜時限	火5・金4	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

この授業は各自が専門とする領域のイタリア語の文献を読む能力の基礎を形成することを目標としており、イタリア語の文法の基礎をしっかり学び、比較的簡単なレベルの読物を自力で読める程度の読解力をつける。

[到達目標]

比較的簡単なレベルのイタリア語の読物を自力で読める程度の読解力とそれを支える文法の基礎力を身につける。

[授業計画と内容]

前期は教科書を中心に、後期は初回に配布するプリントを使いながら、文法の基礎を身につけていく。また、前期の途中から比較的やさしめの講読を開始し、後期の授業の終わり頃には、ある程度のレベルの講読をも行う。２名の担当教員は密に連絡を取りながら一体感をもって授業を進めていく。

前期は、文法事項については以下の予定で学習する。

第１週　表記と発音
第２週　名詞の性数
第３週　essere(be動詞）・形容詞の性数
第４週　定冠詞・不定冠詞、指示形容詞・指示代名詞
第５週　疑問詞、前置詞、所有形容詞
第６週　直接補語人称代名詞
第７週　間接補語人称代名詞
第８週　再帰動詞
第９週　過去分詞と直説法近過去
第10週　直説法近過去（続き）
第11週　基数・序数、部分冠詞
第12週　直説法半過去・大過去
第13週　直説法未来・前未来
第14週　条件法現在・過去
第15週　期末試験／学習到達度の評価
第16週　フィードバック（期末試験の振り返りと夏休み中の自学の方法について説明）

また、後期は、文法事項については以下の予定で学習する。

第１週　前期の復習
第２週　命令法
第３週　比較級・最上級

イタリア語Ｉ （文法） I101(2)へ続く↓↓↓

イタリア語Ⅰ　（文法） I101(2)

第４週　小辞ciとne
第５週　関係代名詞
第６週　直説法遠過去・前過去、ジェルンディオ
第７週　接続法現在・過去・半過去・大過去
第８週　接続法の用法、仮定文
第９週　受動態、現在分詞
第10週　受身的用法のsi、非人称のsi
第11週　過去分詞構文、変意名詞
第12週　読解と総合復習（１）
第13週　読解と総合復習（２）
第14週　読解と総合復習（３）
第15週　期末試験／学習到達度の評価
第16週　フィードバック（期末試験の振り返りと春休み中の自学の方法について説明）

前期・後期とも以上のような予定で進めて行くが、授業参加者の理解度に応じて進度が多少遅れる（早まる）場合等もある。

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

成績については、原則として、前期・後期の定期試験の結果で評価する。成績評価基準の詳細については、授業中に説明する。

[教科書]

秋山余思 『パッソ・ア・パッソ（改訂版）』（白水社）ISBN:978-4560017593
教科書はごく基礎的なものなので後期はプリントを配布して文法の基礎を固める。また、辞書は必ず小学館『伊和中辞典』あるいは白水社『プリーモ伊和事典』を用意すること。これより下のレベルの辞書では授業に対応できない。もちろん、電子辞書でも『伊和中辞典』が入っていれば構わない。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

教科書や課題として指定された文法プリントの練習問題は必ず予習すること。また読解プリントも指定された箇所は、辞書で語彙を調べ、文法事項をプリントで確認しながら、和訳しておくことが必要である。さらに、動詞の活用をしっかり覚えることが復習の中心部分を占める。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィスアワーは特に決まった時間に設けないが、授業内容に関する質問は授業中に受けるので、遠慮なく積極的に質問していただきたい。また、学習方法等の質問は授業後に教室で受ける。